

■永野修身 海軍軍人。海軍の軍拡・開戦論者で、真珠湾攻撃の決行を最終的に決断するも、指導力欠き敗勢に。

ながのおさみ

・・・1880 = 高知で、士族永野春吉・佐喜の四男に生まれる。

明治14年政変1881 = 1歳：

帝国憲法発布1889 = 9歳：

日清戦争始・1894 = 14歳：

子規句歌革新1898 = 18歳： 海南中学から_海軍兵学校に進み，

艦ヲ国産化・1900 = 20歳： _2番で卒業(28期)。

日比谷公園・1903 = 23歳： 海軍中尉で日露戦争の開戦となり，旅順要塞攻撃のときには海軍陸戦重砲隊(指揮官は中佐黒井悌次郎)の中隊長で，旅順陥落後は大尉の戦隊副官(第2艦隊第4戦隊)として日本海海戦に参加。

日露戦争終・1905 = 25歳：

韓国反日暴動1907 = 27歳：

伊藤博文暗殺1909 = 29歳： _海軍大学校卒業(8期)後，

大逆事件判決1911 = 31歳： 清国に派遣され，

明治天皇没・1912 = 32歳： 軍務局員，

大正政変・1913 = 33歳： 以降2年余，アメリカに駐在し，

民本主義・1916 = 36歳：

大暴落・1920 = 40歳： 以降約3年，アメリカ大使館付武官を務める。

原敬首相暗殺1921 = 41歳：

治安維持法・1925 = 45歳： 軍令部第三班長・第三戦隊司令官・第一遣外艦隊司令官・練習艦隊司令官を経て，海軍中将に進み，
_海軍兵学校長となると，生徒の自主的勉学を重視するダルトン=プランを導入。軍令部次長を経て，

満州事変・1931 = 51歳： _ジュネーブ軍縮会議全権委員，

国際連盟脱退1933 = 53歳： 横須賀鎮守府司令長官となり，

帝人疑獄事件1934 = 54歳： 大将。

芥川直木賞始1935 = 55歳： 第二次ロンドン海軍軍縮会議全権となり，

二二六事件・1936 = 56歳： *会議から脱退。広田内閣の海相となり，「国策の基準」を推進。

日中戦争始・1937 = 57歳： _総辞職のあと連合艦隊司令長官。

日米開戦・1941 = 61歳： *軍令部総長となり，海軍のなかの開戦論者として，真珠湾攻撃の決行を最終的に決断するが，
指導力を欠いて，敗勢に導く結果となり，

創価学会検挙1943 = 63歳： 開戦の功で元帥となるも，

年金+総武装 1944 = 64歳： *退任。

敗戦・1945 = 65歳： 敗戦後，

新憲法公布・1946 = 66歳： A級戦犯としてGHQに逮捕され，東京裁判の被告として審理中，

新憲法施行・1947 = 67歳： _巣鴨拘置所で寒さのため肺炎にかかり，没した。